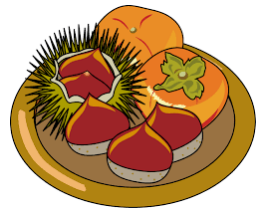


求める児童像

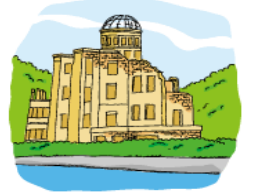
よく考える子ども  
仲間を大切にする子ども  
ねばり強い子ども

# 船っ子 FUNAKKO



平成 29 年 11 月 29 日  
枚方市立船橋小学校  
校長通信 第 11 号

## 6年生、思い出に残る素晴らしい修学旅行



6年生は、11月7日、8日に修学旅行で広島・山口方面に行きました。  
早朝の6時30分、89名全員が一人の遅刻者もなく集合できた事は素晴らしいと思います。  
修学旅行の目標は下に挙げた3つ、そして目的は“修学”、つまり6年間船橋小学校で学んだ事を確認・実践し、「生きる力」としてこれからの人生に活かしていく事です。  
一人ひとりが目標と目的をしっかりと意識し、最高学年らしい行動のできた、素晴らしい修学旅行でした。

### “平和の尊さを知る” “自然を守る気持ちを高める” “規則を守って協力し合う”

まず広島市の平和記念公園に行って原爆ドームを自分の目で見た時、身体がゾッとしました。その場所で苦しみながら亡くなっていった人々のことを思うと、本当に恐ろしいと思いました。資料館では様々な資料や展示があって、その中でも印象に残っているのは2カ所です。1つめは、アメリカとロシアは核兵器の消滅を勧めている、という映像を見てちょっと嬉しい気持ちになりました。他の国が世界を平和にしようとしてくれているのはすごく嬉しい事です。2つめは、門の前で倒れていた男の子に、通りすがりの人が声をかけると彼は既に死んでいた、という絵の展示です。子どもの命と思うと胸が詰まります。死の恐ろしさを感じました。被爆した人々は、原爆がなぜ落とされたのかを知りたくてたまらないと思います。人の人生や動物、色々な命が奪われるのはもう嫌だし、この世界がある限り平和をつくってほしいと思いました。(後略) <坂田 雪奈>

僕は修学旅行で戦争の悲惨さや平和の尊さ、自然の大切さ・雄大さを学びました。広島市の原爆ドームの有様にはびっくりし過ぎて鳥肌が立ちました。リトルボーイ(原子爆弾)はこんなにも人をボロボロにし、悲しみを与えるんだな、と思いました。平和記念公園では外国人に「ハロー」と言うと「ハロー」と返してくれたので、「やっぱりコミュニケーションは大切だな。」と思いました。資料館で会った外国人が「Can I take photo?」と聞いてきたので、「OK」と答えて3枚ぐらい撮ってもらいました。その人は理科の先生でした。

広島のお好み焼きは野菜がモリモリ、卵も秘伝のタレもおいしかったです。食べ終わったあとに笑ったら、青海苔が歯についていたので笑われました。宿舎の焼肉の食べ放題は、おいしかったけどとてもお腹がいっぱいになりました。いっぱいになりすぎてお腹が痛かったです。その後温泉に入っておみやげを買いました。楽しかったです。

2日目は自然の雄大さについて学びました。秋芳洞で一番良かったのは、3億年のタイムトンネルです。「地球はこうやって発展していったんだな。」と思いました。サファリランドの動物はとてもかわいかったです。今回の修学旅行はとても勉強になったし楽しかったです。 <土谷 悠太>



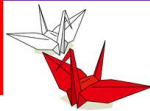
私たちの住んでいる今の日本は平和です。平和が当たり前になっている今は、戦争を知る人も少なくなっています。平和はとても幸せなことです。私たちは11月7日、8日に修学旅行に行き、広島で平和、山口で自然について学びました。7日は広島市の平和記念公園に行きました。原爆ドームを見た瞬間、原爆の恐ろしさが一目でわかりました。丸屋根は鉄骨だけが残っており、壁は崩れ落ち、悲惨な状態でした。この状態で残っているなんてすごいと思いました。原爆の子の像の前で平和セレモニーをしました。「広島のある国で」を一生懸命に心をこめて歌いました。佐々木貞子さんを想って、原爆で亡くなった方々を想って…。資料館では原爆の恐ろしさを映像や実物、写真などで詳しく知ることができました。私が一番悲しいと思ったのは、爆心地から600m離れた所で被爆した中学生の学生服です。色々な所が焼け焦げており、それが原爆で亡くなった方の物だと考えると胸がキューッと苦しくなりました。

8日には山口の秋芳洞、サファリランドで自然の雄大さや大切さを学びました。秋芳洞では本当に自然にできたものなのかと思うくらい神秘的な空間でした。色々な見所がありましたが、私は「傘づくし」が一番すごいと思いました。天井からつららのように垂れ下がっている鍾乳石は、何万年から何億年もかけてできたことを知りました。サファリランドではふれあい体験のひよこが一番かわいかったです。一瞬「飼いたいな」と思いましたが、成長したらニワトリに…さすがにそれは…。触るだけで十分です。この修学旅行で戦争の恐ろしさを改めて知り、平和な世の中を守っていくようにしなければ、と思いました。まずはクラスの平和を守ることから始めます。そして自然の素晴らしさを守っていきたいという思いが高まりました。 <清水 優奈>



# 全校児童で“平和を考える日”

11月14日は「平和を考える日」として体育館で児童集会を行い、全児童が平和について考えました。校長の話しに続いて6年生から修学旅行の報告と“平和セレモニー”の実演、教員による“かわいそうな像”の朗読、最後は全児童で“折り鶴”の合唱を行いました。みんなで平和を考える、たいへん貴重な時間となりました。



## RENNON のひとり言・・・

6年生は修学旅行でしっかりと勉強してきたみたいだね。「平和・自然・協力」3つの目標を達成し、目的である「修学」もちゃんと身についたんじゃないかな。校長先生（以後は栗校長）も家に帰ってくるなり「たいへん有意義で、楽しい修学旅行だったぞ。」って言ってたよ。実は栗校長にとって今回の修学旅行にはもう1つ目的があったんだ。それは以前勤めていた海外の学校のT校長先生に会う事で、その人は修学旅行で泊まったホテルの近くに住んでいて、偶然にも船小6年生のある児童のおじいちゃんなんだ。

今から25年前、栗校長は文部省の試験を受けて、パキスタン国カラチ日本人学校に家族を連れて赴任したんだ。当時子どもは1才と3才で、栗校長にとって初めての海外がパキスタンだった。元々パキスタンっていう国は自然豊かで穏やかな人たちが暮らす国なんだけど、砂漠の街カラチは貧しさゆえに治安が悪く、日本人の女性や子どもは外を出歩く事もできなかった。夜になると銃声が鳴ったり、商店で爆弾が爆発したり、選挙のたびに暴動が起きるから日本人学校は度々休校していたんだって。そんな街に小さな子どもを連れて赴任したから、頼れるのは日本人学校の先生仲間しかなくて、特にT校長先生とその奥様には、住む家や日本食の手に入れ方をはじめ、現地での生活から日本人会との付き合い方まで、ありとあらゆることを教えてもらったんだって。

釣りが大好きなT校長先生は、休みになるといつも庭に生るバナナを車に積んで、砂漠の中を2時間ひた走り、アラビア海に向かって竿を振っていたらしいよ。釣りをした事がなかった栗校長も、教えてもらって50cm近い鯛を何度も釣ったことがあるんだって。赴任して直ぐに栗校長の娘が病気になり、急遽家族を日本に帰した時は、栗校長は3ヵ月間一人暮らしになったんだけど、その時もT校長先生の家にお呼ばれして貴重な日本食を頂いたり、オオトカゲが歩くゴルフ場に誘ってもらったりと、色々気づかしてもらったんだって。あの厳しい国で3年間暮らせたのは、1年目にT校長先生とその奥様に出会えたからなんだ。

そのT校長先生と奥様が、お孫さんと栗校長を訪ねてホテルに来て下さった。25年ぶりにお会いして、ロビーで30分ほどお話ができたよ。さすがに容姿は年をとられたように感じたけど、気持ちは以前と全く変わらない元気な校長先生のままだった。「あんたも全然かわらんねえ」と言われて栗校長はちょっと照れてみたい。二日間で6年生はしっかりと学び、校長先生は懐かしい人に会え、本当に思い出に残る素晴らしい修学旅行になったようだね。この思い出をこれからの生活にしっかり活かして行ってね。ワンワン

## 12月の行事予定 銀行振替日：5日、現金徴収日：11日、放自習：放課後自習教室



1	金	個人懇談①	14	木	班長会、こころの教室、放自習
4	月	個人懇談②、図書返却（～8日）、租税教室 ※調理場給水管工事（約1ヶ月）	15	金	20分休み廊下を歩こう運動 地区児童会、放自習
5	火	個人懇談③ 6年モチベーションアップ（英語）	18	月	クラブ、放自習 20分休み廊下を歩こう運動
6	水	個人懇談④	20	水	4-1研究授業（他は給食後下校）
7	木	こころの教室、放自習	21	木	給食終了、大掃除
8	金	6年中学校給食試食、放自習	22	金	終業式
10	日	地域レクリエーション大会（芋煮）	24	日	冬季休業（～1/8）
11	月	委員会（6年アルバム写真） 冬休み用図書貸し出し（～15日）			
12	火	児童集会	1月		
13	水	なかよし学級調理実習 20分休み廊下を歩こう運動 お迎えデー	9	火	三学期始業式
			11	木	給食開始
			20	土	土曜授業「マラソン大会」